

事業所名

ウィズ・ユーいちのせき（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

7 年

3 月

14 日

法人（事業所）理念		インターグロー＝共に成長する ・私たちは専門スキルを高める努力を日々行い、サービス向上を目指して成長していきます。										
支援方針		・児童一人ひとりの気持ちを理解し、各々に合った支援を提供出来るように務めます。 ・児童にとって家と同じ安らげる居場所づくりをしていきます。										
営業時間		平日 学校休校日	9 9	時	30 00	分から	18 18	時	30 00	分まで	送迎実施の有無	（あり） なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・集団活動において基礎運動を取り入れ、体力の維持・運動能力の向上、健康生活の基本となる体づくりをしていきます。 ・身体的・精神的に社会適応できるスキルが伸びるように、社会での自立、健全で主体的に生活を営む能力を獲得できるように支援していきます。 ・基本的な身辺自立、個に応じた支援をすることで健全な発達と日常生活における自立を促します。										
	運動・感覚	・静的活動（クイズや製作など）や動的活動（サーキットやボディバランスなど）を設定活動で取り入れ、視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用出来るように支援していきます。 ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持、上肢・下肢の運動、動作の習得・筋力の維持を考え活動に取り入れていきます。 ・外出活動の際、体を動かせるように声掛け・支援をおこなっていきます。										
	認知・行動	・学校休校日や長期休暇の際は、外出活動を積極的に取り入れることで、お友達との関わり、社会のルール、他者を意識した行動が出来るように支援・声掛けをしていきます。 ・放課後はスタッフが設定した製作活動や運動遊びを通して季節の流れを感じたり、身体を動かす楽しさを味わいながら成功体験を積んでいきます。										
	言語 コミュニケーション	・指差し、絵カード、ひらがな等の多様なツールを用いた、意志の伝達が出来るように環境・場面・空間づくりをおこなっていきます。 ・遊びの中で「仲間に入れて」「貸して」と伝えて相手の「いいよ」の返事を待つことや、「今使っているよ」「あとでね」と断るといった友達との言葉のやり取りが出来るようにスタッフがお手本を見せたり、助言をしたりします。										
	人間関係 社会性	・小集団活動や、集団活動を通して順番に行う、ルールを守る、友達と協力をする、失敗や勝ち負けを受け入れるといった、他者と一緒に生活をしていくために必要なスキルを身につける機会を作ります。 ・友達との関わり方に関して、スタッフがお手本を見せたり、助言したりして、他者を認めた関わりが増えるように支援していきます。 ・困った時に多様なツールを用いて「手伝ってほしい」とSOSを出せたり、場面・状況に合わせて「ありがとう」と感謝を伝えたり、自分が悪い時は「ごめんなさい」が言える様に環境づくりをおこなっていきます。										
家族支援		日常でのお子さんの困りごとの相談や関わり方等、一人で抱え込まないようにサポートしていきます。							移行支援		同年代との友達づくり、就学・進学・新学期における支援の連続性を確保していきます。	
地域支援・地域連携		保護者様や学校・社会福祉協議会相談支援事業者とお子さんの様子や支援方針について、情報を共有し連携を図って行きます。							職員の質の向上		研修を受けられる環境を整え支援の質の向上に繋げている。 （ペアレントプログラム、救急救命講習、強度行動障害研修、愛着障害研修など）	
主な行事等		お誕生日会、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、近隣施設・公園への外出活動など										